

食品安全委員会の5月の運営について

1. 食品安全委員会の開催

第430回 5月10日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明。

器具・容器包装（1案件）	乳及び乳製品の成分規格等に関する省令に定められた乳及び乳製品の販売用容器包装に係る規格の改正
遺伝子組換え食品等（1品目）	PHE1213株を利用して生産されたL-フェニルアラニン

- ・「乳及び乳製品の成分規格等に関する省令に定められた乳及び乳製品の販売用容器包装に係る規格の改正」については、既にポリプロピレン及びナイロンは合成樹脂製容器包装に使用されているが、人の健康に影響を及ぼした事例は確認されておらず、当該合成樹脂は引き続き内容物に直接接触する部分には使用できないこととされていることから、食品健康影響評価を行う必要がない場合として、食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当することが確認され、事務局において手続を行うこととなった。

(2) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知。

農薬（4品目）	ホスメット、プロスルホカルブ、ペンチオピラド、ミルベメクチン
化学・汚染物質（清涼飲料水中の化学物質）（3品目）	水銀、クロロ酢酸、トリクロロ酢酸
遺伝子組換え食品等（1品目）	アリルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ40278系統（飼料）

(3) 食品安全委員会の4月の運営について

- ・事務局から報告。

第431回 5月17日（木）

(1) 遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果についての報告

- ・同専門調査会から報告された以下の案件について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定。

遺伝子組換え食品等 （2品目）	チョウ目害虫抵抗性ワタCOT67B系統、チョウ目害虫抵抗性ワタCOT102系統
--------------------	---

(2) 食品安全関係情報(4月14日～5月2日収集分) について

- ・事務局から報告。

(3) 第430回食品安全委員会会合における資料1－3「PHE1213株を利用して生産されたL-フェニルアラニンに係る食品健康影響評価について」に関し、厚生労働省から差し替えの連絡があった旨事務局から報告があり、ホームページに掲載した資料等を正しい資料に差し替えることとなった。

第432回 5月24日（木）

(1) 米国におけるBSEの4例目の発生について

- ・厚生労働省から説明。

(2) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明。

添加物（1品目）	過酸化水素
農薬（10品目）	テブコナゾール、ピリフルキナゾン、ブプロフェジン、フロニカミド、ベンチアバリカルブイソプロピル、アルドリン及びディルドリン、4-クロルフェノキシ酢酸(4-CPA)、キンクロラック、トリデモルフ、フラムプロップメチル
農薬及び動物用医薬品（4品目）	イソプロチオラン、ジノテフラン、フェノブカルブ、ペルメトリン

(3) 化学物質・汚染物質専門調査会における審議結果についての報告

- ・同専門調査会から報告された以下の案件について、審議結果（案）を一部修正の上、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定。

化学・汚染物質（清涼飲料水中の化学物質）（４品目）	硝酸性窒素・亜硝酸性窒素、バリウム、ニッケル、フッ素
---------------------------	----------------------------

(4) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知。

プリオン（１案件）	我が国に輸入される牛肉及び牛内臓に係る食品健康影響評価③（ホンジュラス、ノルウェー）
農薬（２品目）	クロマフェノジド、スピロメシフェン

第433回 ５月31日（木）

(1) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知。

農薬（１品目）	エトフメセート
遺伝子組換え食品等（１品目）	除草剤グルホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタGHB119系統

(2) 食品安全関係情報（５月３日～５月18日収集分）について

- ・事務局から報告。

2. 専門調査会の運営

(1) 添加物専門調査会

第106回 ５月30日（火）

- ・「亜塩素酸水」について調査審議し、資料に関する修正内容の確認及び審議結果の取扱いについては座長に一任となった。
- ・「クエン酸三エチル」並びに「アルミノケイ酸ナトリウム、ケイ酸カルシウムアルミニウム、カルミン及び酸性リン酸アルミニウムナトリウム」について調査審議し、継続審議となった。

(2) 農薬専門調査会

第16回評価第一部会 ５月8日（火）※非公開

- ・「テフルベンズロン」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、農薬専門調

査会幹事会に報告することとなった。ただし、確認事項に対する回答については、評価第一部会で確認することとなった。

第17回評価第四部会 5月16日(水) ※非公開

- ・「イソピラザム」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、農薬専門調査会幹事会に報告することとなった。ただし、確認事項に対する回答については、評価第四部会で確認することとなった。

第17回評価第三部会 5月18日(金) ※非公開

- ・「アクリナトリン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、農薬専門調査会幹事会に報告することとなった。ただし、確認事項に対する回答については、評価第三部会で確認することとなった。

第15回評価第二部会 5月22日(火) ※非公開

- ・「エタボキサム」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、農薬専門調査会幹事会に報告することとなった。
- ・「イソキサベン」について調査審議し、継続審議となった。

(3) 動物用医薬品専門調査会

第140回 5月15日(火)

- ・「アザペロン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「キシラジン」について調査審議し、継続審議となった。

(4) 器具・容器包装専門調査会

第17回 5月11日(金)

- ・「フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(DEHP)」について調査審議し、継続審議となった。

(5) 微生物・ウイルス専門調査会

第30回 5月14日(月) 薬剤耐性菌に関するワーキンググループ

※第56回肥料・飼料等専門調査会と合同で開催

- ・「ノシヘプタイド」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「鶏に使用するフルオロキノロン系抗菌性物質製剤」について調査審議し、継続審議となった。

(6) プリオン専門調査会

第71回 5月29日(火)

- ・事務局から、米国におけるBSEの4例目の発生について説明がなされた。

- ・と畜場の管理状況（日本、米国、カナダ、フランス、オランダ）について、山本専門委員から説明がなされ、SRM の範囲等に異なる部分はあるが、各国それぞれにおいて食肉処理工程におけるリスク低減措置がとられていることが確認された。
 - ・変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）に関する科学的知見について、中村専門委員から説明がなされ、vCJD の発生は、BSE の発生と関連がみられ、ほぼ終息に向かいつつあることが確認された。
 - ・非定型BSE に関する科学的知見について、小野寺専門委員から説明がなされた。非定型BSE は、定型BSE と異なり、ほとんどが8 歳を超える高齢牛で発生しているが、不明な点も多く引き続き検討することとされた。
 - ・フランス及びオランダにおけるBSE の発生状況等について、筒井専門委員から説明がなされ、発生牛の誕生年でみた場合、フランスでは2004 年4 月、オランダでは2001 年2 月生まれの牛を最後に、BSE の発生がみられておらず、フランスの2004 年生まれの事例については、さらなる情報収集が必要であるが、飼料規制の一定の有効性が確認されつつあると考えられた。
 - ・vCJD 及び非定型BSE については、これまでの感染実験、発生状況等に関する議論を踏まえ、引き続き議論を深めていくこと、また、米国及びカナダの発生状況等について、引き続き確認を行っていくこととされた。
- なお、主要な論点については今回までに着手できたため、これまでの議論を整理しながら、次回以降、議論を進めることとされた。

（7）遺伝子組換え食品等専門調査会

第104回 5月21日（月）※非公開

- ・「低飽和脂肪酸・高オレイン酸及び除草剤グリホサート耐性ダイズMON87705 系統（食品・飼料）」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「PHE1213 株を利用して生産されたL-フェニルアラニン」について調査審議し、継続審議となった。

3. 意見交換会の開催等

（1）意見交換会

食品に関するリスクコミュニケーション～食品中の放射性物質対策に関する説明会～
5月8日（火）＜滋賀県＞、5月10日（木）＜北海道＞、5月17日（木）＜大阪府＞、
5月28日（月）＜香川県＞

- ・消費者庁、厚生労働省及び農林水産省との共催により開催。
- ・食品安全委員会事務局から食品中の放射性物質に係る評価書の概要について、厚生労働省から食品中の放射性物質の新たな基準値及び検査について、農林水産省から農業生産現場における対応について講演を行った。
- ・参加者との質疑応答を行った。

(2) 講師等派遣

- ・地方公共団体や各種団体が企画した講演会等に委員が講師として参加した。

月 日	講演会名	対応委員
5 月 2 1 日	世田谷市民大学少人数特別講座	熊谷委員長代理